
YUIが悪と闘ったら 怪しい集団編 6

pokemomtyan

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

YUIが悪と闘ったら 怪しい集団編6

【Nコード】

N0271U

【作者名】

poke montyan

【あらすじ】

まずは3人が変な集団と闘うことになる。

YUIが聞ったら(前書き)

感想を書いてね。

YUIが聞ったら

王様ゲームの結果でYUIよりも先にデイズニールランドに乗り込んだ、菅直人達は何かを企んでいる海江田万里と合流し馬車でシンデレラ城へと向かう途中であった。

菅直人（か〜んかんかん笑。シンデレラ城まで行けば、俺様達の身の危険も大丈夫だぞ♪）

北川景子（そんな簡単に行くのかな・・・単細胞な人って本当に困るわ。）

葉加瀬太郎（ヨホホホホ。お城には美味しいマヨネーズやバター何かもあるんですかね笑。因みに私は最近料理にこっけていまして、コンビニに売っている豚の角煮にマヨネーズとバターを乗せて更にパルメザンチーズをふりかけ、レンジで5分チンすると豚の脂が溶け出して香ばしい健康に良い夜食のおつまみになるんですね〜♪深夜にがつつり食べたい人には、体に優しいおつまみですヨホホホホ！）

北川（貴方・・・良い加減に死んでしまおうよ・・・呆。）北川は冷めた目線で言った。

菅直人（嫌だわ〜ん♪景子さ〜ん！怖いじゃないです菅。何だったら・・・俺様と今宵はシンデレラ城でシャルウィダンスする菅笑？）

北川（う・・・！やめて缶さん。貴方のお口の息が臭いし、それと加齢臭がして吐き気がするわ。）北川は手で鼻を覆い、菅の口の臭さを防いだ。

菅（かかかか〜ん泣。俺様・・・そりゃあ、64になるし年を取れば加齢臭もするけど・・・少し酷いぞ泣。）

北川（何か・・・一言で言くと、排水溝の中で死んでいるネズミの腐乱死体のような匂いがする泣。）

菅（か〜ん泣。今まで野党や内からもいろいろ攻撃されているけれど、此処までショッキングだったのはワンピースでサボが天竜人に

殺された時ぐらいショックだ菅泣！えゝんサボゝ泣。）

北川（いや！貴方！例えば途中から可笑しいでしょ怒！）

葉加瀬太郎（ヨホホホホ。長芋さん！そんなに泣かずに、クロレツツのガムでも噛んでください！）

菅はガムを泣きながら噛み続けた。

菅（うおゝお口爽やかゝゝ）

北川（確かに匂いは無くなったけれど、どんだけ単純なんじゃ怒！）横に座っていた海江田が話した。

海江田（えゝだった笑。総理・・・お友達が多いですね。もう少しで着きますからどうぞ養命酒でも飲んでください。おつまみは黒砂糖です。）グラスに養命酒が注がれた。

北川（お前！普通はワインだろ怒！渋すぎるわ怒！そして、何処まで健康管理してんねん怒！）

菅（うわゝい♪養命酒も黒砂糖も旨いぞ！）

葉加瀬（海江田さん・・・私は良いです飲めないし、食べれないです・・・）

海江田（えゝだった笑。葉加瀬さんどうしてなんですか？）

北川（嫌いなのか？）

葉加瀬（ヨホホホホ。ハイ・・・私、先祖代々信仰する宗教上、養命酒や黒砂糖等の巷の人々から見たら健康食品に見える物を口に入れると、体がたちまち滅びを迎えると教えられてきまして、その代わり牛、豚、天ぷら、ハンバーガー、マヨネーズ、ケンタッキー、バターを長寿の食べ物としてそればかり食べると教わってきたのです・・・私もそれが正しいと思っていますですから私はこの身が滅びさるものを食べれないのです！ヨホホホホホ。）

北川（お前！本当に突然心筋梗塞が襲ってくるぞ叫！）

菅（そうだぞ！葉加瀬・・・俺様や景子さんを見ろ！スリムな体だろう！俺様何て、今から16年前に0157の大腸菌が流行し、感染源がカイワレ大根だと言われた時には俺様が食の安全の為にカイワレを食べたりしたんだぞ！しかも、その日から3か月、カイワレし

か食べなかったんだ！お前も少しは野菜を食べやがれ！この体脂肪音楽家が叫！）

北川（空き缶！お前も食うもののバランスを考えろ馬鹿か！）

菅（いや・・カイワレ好きだし、人の勝手だから別に良いんじゃないですか景子さ〜ん！）菅は北川に抱き着いてキスをしようとした。

北川（調子に乗るな！半分ハゲ頭叫！）北川は菅を拳で殴った。

菅（もうあ菅・・・）

海江田（え〜だった。可笑しいですね。馬車が止まりました？何でだ？）

北川（え〜！しっかりしてよ、だから民主党は駄目なんじゃ無いの？）

海江田（確かに・・民主党はこんなものだから駄目だと思うのですが、馬車は馬の責任ですし・・ちよつと待ってくださいね。外に出て調整しますのでね。）海江田は外に出ようとした。

菅（あ！それと、海江田！YUI達が途中で来るから、攻撃するなよ！YUIは俺様の仲間だからな！あの時とは状況が違うから間違えるなよ！）

北川（少なくとも・・YUIちゃんは長芋さんの事は仲間だとは思っていないし、嫌いだと思うよ。）

数十分後、海江田が帰って来なくなった。

菅（どうしたんだ菅？あいつが帰って来ないぞ？）

北川（変ね・・外にでましよう。）

葉加瀬（ヨホホホホ。海江田さん・・一人だけ美味しい物を食べてるんじゃない・・怒。だとしたら、温厚な私も少し許せませんね。ヨホホホホ。）

北川（お前の美味しい物は私達にとって不愉快だ！言うな怒！）3人は外に出た。

北川（何此れ？誰もいないじゃない！）

菅（何でだ菅！）

葉加瀬（ヨホホホホホ？奥から変な集団がきますね？）何故か分か

らないが竹槍や武器を持った集団が歩いてきた。

菅（何だ？あいつ等は？）

民衆（いたぞー！菅だ！スカイツリー周辺で大虐殺を行った謀反人だ！原発問題もどんどん変になってくるし・・・おら達の親類を返せー叫！うおー！）民衆は竹槍を馬車に突き刺してきた。

3人はいそいで外に脱出した。

北川（な・何なのこの人達！）

菅（分菅らん！コイツ等俺様達を殺そうとしているんだ。）

葉加瀬（ヨホホホホ。とりあえず、逃げましょう。ハアハア。でも私、柔かい筋肉がつき過ぎて走ると疲れて来るんです。もう駄目です・・・）葉加瀬はたった3分走って道に倒れた。

北川&菅（お前は！本当に戦力なのか怒！）

葉加瀬（エネルギー補給に・・・ま・マヨネーズを・・・）

民衆（竹槍や武器を突き付けろ！殺せ叫！）

北川（もう闘うしかないわ！一応、日本刀を2本腰に差して歩いてるし、前の時代劇の殺陣で剣術を柳生新陰流の先生、万題院先生って方から免許皆伝も頂いてるから斬り捨てる叫！）

菅（何かうさんくさい先生の名前だな・・・呆。よし！俺様もこのパチンコで戦うぞ！）

北川（お願いだから！長芋さんは大人しくして泣！）

民衆（死にさせ怒！）民衆は竹槍で突いてきたが、北川が避けて刀を抜いた。

北川（喰らえ！パラダイスキス斬り！）竹槍の男の首に刀を振り、首を斬り落とした。

民衆（ひっこやつらできるぞなもし泣！）

菅（更に俺様のパチンコを喰らえ！必殺、普通のビー玉星！）菅はパチンコにビー玉をセットして、相手に放ったが、相手も甲冑を着ており、無残に弾き返された。

民衆（お前・・・何がしたいの？）

菅（こ・コイツ等・・・全員が覇気使い菅！）

北川（いやいや・貴方の技が弱いのだ。）

民衆（くそ！死ね！）

北川（ブザービート斬り！）北川は瞬時に刀を横に持ち替えて、一気に5人斬った。

民衆（うおー！俺等はまだいるぞ！）

菅（くそ・それじゃあ、此れはどうだ！必殺・平成の新聞記事星！）丸めた新聞記事をパチンコにセットした菅は民衆に新聞を当たてた。

民衆（ん？何だこの新聞記事？）民衆は新聞を広げた。

民衆（うわ！暗いニュースばかりで落ち込む・震災のせいで、経済に大打撃だって、雇用の悪化、内定率の過去最低の悪化、職場いじめが過去で最大の数値、リストラ、放射能の脅威、仮設住宅の設置の遅れ、自殺者の増加、消費税増税・嫌な記事だ叫！よ・読みたくないよ泣。）民衆は泣き崩れて死んだ目をしだした。

菅（かゝんかんかん笑！どうだ！俺様の力を！此れが日本のパワーだ菅！）

北川（お前も一つぐらいなんとかせい怒！）北川は刀の鞘で菅の頭を殴った。

菅（痛い菅！それより、俺様が葉加瀬をおぶるからシンデレラ城に行こうぜ！）3人は逃げた。

海江田（えくだった。まんまとはまりやがったな。）

岸谷五郎（ワシは思うに、こんな現状を打破できない政治家何て全員いなくて良いと思ったのだ。）

萩原聖人（頼みます・関白殿下！一度、収録現場に帰ってきてください泣。私が怒られるんです泣。）

岸谷五郎（もう・うるさい！お前はペ・ヨンジュンの吹き替えやっている！）

海江田（それより、あいつ等が屋敷にはおるな・）

岸谷（ワシも向かうとするかい・くくく笑。）岸谷は能力で体を消えようとした。

萩原（関白殿下くそれじゃあ、頼むから、私が怒られないように、監督に手紙を書いてください泣。）

岸谷（やかましいわい！ベタベタくっつくでないわ怒・・・あゝあ。ワシは何でこんな奴しかよって来ずに女に好かれんのじゃく泣。）
3人は消えた。一方、YUI達は門を抜けて、城に向かっていた。

YUI（はゝあ。結構、距離があるね。嫌だゝまた変な奴と闘うの・泣。）

神崎昂（全ては、あのアホのせいです、会ったら本当に半殺しにします！）

枝野（昂。あれでも一応、国の総理だから加減はしろよ！私の首も飛んでしまうからな。）

向井理（あゝあ。腹減ったな・・・レストラン行こうよ泣。）

長谷川潤（そういや、私も何も朝から食べていないのよ。）

YUI（あ！あそこにレストランがある。腹ごしらえしてから行こう。）一味はファミレスに入った。

YUI（スイマセン！オーダー良いですか？）

神崎（何で中は中華レストランになっているんだ？）

向井（もう腹が減った、何でも良いから食いたい叫！）するといきなり、焼きたてのチャーハンが飛んできた。

YUI（危ない！）YUI達は反転して避けた。

YUI（其処にいるのは誰だ！出てこい叫！）厨房から2人の男が出てきた。

？（あいやゝお客様が料理が食べたいと言って来たから、チャーハンを飛ばしたアルネ。）

？（あゝあ。メディアにも良く出るようになったし、女もコロコロ変えないといけないしだるいしはゝあめんどくせえな。）

YUI&潤（また・・・変な奴が。）

続

YUIが聞ったら（後書き）

感想を書いてね。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0271u/>

YUIが悪と闘ったら 怪しい集団編6

2011年10月9日03時01分発行